| 科目ナンバリング | U-LAS01 10009 LJ38 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<br><英訳> | 西洋史II<br>Western History II | | | 担当者所属<br>職名・氏名 | 人間・環境学研究科 准教授　福元　健之 | | |
| 群 | 人文・社会科学科目群 | 分野(分類) | 歴史・文明(基礎) | | | 使用言語 | 日本語 |
| 旧群 | A群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 講義（対面授業科目） |
| 開講年度・開講期 | 2025・後期 | 曜時限 | 木3/金3 | 配当学年 | 全回生 | 対象学生 | 全学向 |

**[授業の概要・目的]**

本講義では、なぜ・どのように「健康」や「清潔」が近代社会のなかで「良い」価値として認識されるようになったのか、をテーマに、西洋近代史について論じる。ともすれば、私たちは身体とはその人自身のものだと考えがちだが、実際には、人間の身体は、様々な政治的磁場や社会的介入の網の目のなかに置かれてきた。そして、そのことについて深く調べると、歴史のなかで医療は、人びとを治療し、救うだけではなく、分類し、抑圧する機能をも果たしてきたことが分かる。

**[到達目標]**

西洋近代史の基礎知識を学ぶことを通じて、近代的価値観を相対化する視点を身につけるとともに、歴史的視座にたって身体や健康の問題について考察できるようになる。

**[授業計画と内容]**

１．イントロダクション
２．歴史のなかの身体観・医療観
３．医療の多元性
４．コレラと公衆衛生
５．天然痘とワクチン
６．身体の国民化
７．性病と売買春
８．階級と飲酒
９．精神医療
１０．第一次世界大戦と病
１１．コロニアリズムと病
１２．優生学
１３．「自然」と医療
１４．医療倫理
１５．フィードバック

**[履修要件]**

特になし

**[成績評価の方法・観点]**

期末筆記試験または期末レポート試験

**[教科書]**

使用しない
授業中に資料を配布する

西洋史II(2)へ続く↓↓↓

西洋史II(2)

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

予習・復習は、授業で配布した資料を利用するとよい。授業中に紹介する文献や、図書館で関連する文献を自分でみつけ、読んでみることで、理解をさらに深めることができる。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]